

平成30年三重県議会定例会 教育警察常任委員会

I 所管事項説明

- 1 平成30年版成果レポート(案)について…………… 別添
- 2 「三重県教育ビジョン」の進捗状況について…………… 1
- 3 平成30年度全国高等学校総合体育大会について…………… 34
- 4 平成31年度三重県立高等学校募集定員総数の策定について…………… 41
- 5 三重県総合教育会議の開催状況について…………… 45
- 6 審議会等の審議状況について…………… 49

三重県教科用図書選定審議会(4月25日)

三重県社会教育委員の会議(2月21日)

平成30年 6月20日

教育委員会

2 「三重県教育ビジョン」の進捗状況について

1 概要

三重の教育のめざす姿とその実現に向けた主な取組内容および目標を示す中期計画として、10年先を見据えた4年間（平成28年度から平成31年度まで）を計画期間とする「三重県教育ビジョン ～子どもたちの希望と未来のために～」を平成28年3月に策定しました。

教育ビジョンは30の施策、8つの重点取組にそれぞれ数値目標を掲げており、毎年度の目標達成状況を確認することで、計画の進捗状況を管理していきます。

平成29年度目標の達成状況は、施策で85.3%、重点取組で88.4%が進捗度A（進んだ）またはB（ある程度進んだ）となっていることから、計画2年目の取組は、おおむね順調に進んだと評価しています。

【目標達成状況】

平成29年度目標に対する実績値の割合

A（進んだ）：100%

B（ある程度進んだ）：85%以上100%未満

C（あまり進まなかった）：70%以上85%未満

D（進まなかった）：70%未満

2 施策の進捗状況（詳細は別紙）

基本施策	目標達成状況				
	A 進んだ	B ある程度 進んだ	C あまり 進まなかつ た	D 進まなかつ た	未確定
(1)夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	11	8	2	1	0
(2)人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成	11	9	2	0	0
(3)健やかに生きていくための身体の育成	2	7	2	0	0
(4)自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	4	2	0	0	0
(5)笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	2	8	0	2	7
(6)地域に開かれ信頼される学校づくり	9	9	0	0	0
(7)多様な主体による教育の推進と文化財の保護	4	7	0	0	0
合計	43 (39.4%)	50 (45.9%)	6 (5.5%)	3 (2.8%)	7 (6.4%)

85.3%

3 重点取組の進捗状況

重点取組	目標達成状況				
	A 進んだ	B ある程度 進んだ	C あまり 進まなかった	D 進まなかつ た	未確定
(1)学力の向上	3	9	0	1	0
(2)体力の向上と 学校スポーツの推進	1	2	0	1	0
(3)心の教育の推進	4	1	0	1	0
(4)グローバル人材の育成	4	3	2	0	0
(5)特別支援教育の推進	3	1	0	0	0
(6)誰もが安心できる学び場づくり	0	3	0	0	1
(7)地域に開かれ輝く学校づくり	3	0	0	0	0
(8)教職員の資質向上	5	4	0	0	0
合計	23 (44.2%)	23 (44.2%)	2 (3.8%)	3 (5.8%)	1 (1.9%)

88.5%

※割合については小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

4 今後の方針

引き続き、教育ビジョンに位置づけた施策等を推進するとともに、数値目標達成に向けて取り組んでいきます。

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成29年度)

別紙

【基本施策1】

夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)学力の育成	成果指標	全国学力・学習状況調査の教科に関する調査における無解答の状況	5	7	7	6	0.86(B)	10 (理科を含む 10教科)	8 (全教科)	—
	活動指標	「めあての提示」、「振り返る活動」の実施状況	【小学校】 めあて 97.8% 振り返る89.9% 【中学校】 めあて 87.6% 振り返る87.5%	【小学校】 めあて 98.7% 振り返る93.0% 【中学校】 めあて 100% 振り返る96.2%	【小学校】 めあて 99.0% 振り返る93.5% 【中学校】 めあて 100% 振り返る96.5%	【小学校】 めあて 98.8% 振り返る95.3% 【中学校】 めあて 98.8% 振り返る96.8%	【小学校】 め 0.99(B) 振 1.00(A) 【中学校】 め 0.99(B) 振 1.00(A)	【小学校】 めあて 100.0% 振り返る93.0%	【小学校】 めあて 100% 振り返る 94.0% 【中学校】 めあて 91.0% 振り返る91.0%	【中学校】 めあて 92.0% 振り返る92.0%
(2)外国人児童生徒教育の推進	成果指標	【県・活】 日本語指導が必要な外国人生徒のうち、就職または高等学校等に進学した生徒の割合	94.9%	95.8%	100%	97.9%	0.98(B)	100%	100%	—
	活動指標	日本語で学習する力の習得を支援する授業改善に取り組んでいる学校の割合	小学校 97.7% 中学校 95.8%	小学校 97.9% 中学校 96.2%	小学校 95.1% 中学校 96.4%	小学校 98.8% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 97.5% 中学校 98.2%	小学校 100% 中学校 100%	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)グローバル教育の推進	成果指標	高等学校卒業段階で英検準2級以上相当の英語力を習得した生徒の割合	31.2% (H26年度)	34.8%	50.0%	38.6%	0.77(C)	50.0%	56.0%	英語の4技能の育成を行ってきたが、スピーキング及びライティングの指導と到達度の評価が十分とはいえず、また、全国と比較して、外部検定試験の活用率が低い傾向にある。今後は、①校長が中心となって、教員が英語の4技能をバランスよく育成する授業ができるよう指導・助言を行い、確実な授業改善につなげていく。②大学等外部機関による指導助言を活用しながら、中核となる英語教員を養成する。③レベル別の英語セミナーを実施し、生徒が英語を使う機会を創出する。④公開授業研究会を年5回開催し、授業改善を促進する。⑤英語教育の改善に係る学校訪問を15校程度実施する。⑥各校における英検等の外部検定試験の活用を促し、生徒の4技能の伸びを正確に把握し、指導に活かすようにする。
		中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合	29.0% (H26年度)	33.5%	50.0%	35.3%	0.71(C)	50.0%	56.0%	過去3年間で生徒の英語力の状況は改善しているものの、全ての学校で作成している英語の4技能の学習到達目標を示したCAN-DOリストの達成状況の把握が十分でなかったことや、特に4技能のうち、スピーキング及びライティングについては、テスト等による評価が十分に行われていなかった。今後は、各市町の取組状況を把握しながら、状況に応じて出前研修などの支援を行う。また、4技能のバランスのよい育成に向け、特にスピーキング及びライティングの指導と評価を重視しつつ、①全中学校から1名参加の研修講座で指導と評価方法についての研修、②各地域の実情に応じた英語地域強化研修(15ブロック)、③研修協力校の協力を得ながら、生徒の発語を促すための研究授業の実施を通じて、教員の英語指導力の向上を図る。
	活動指標	外国語における学習到達目標を設定している学校の割合	中学校17.9% 高等学校18.2% (H26年度)	中学校 100% 高等学校 100%	中学校 100% 高等学校 100%	中学校 100% 高等学校 100%	中1.00(A) 高1.00(A)	中学校 100% 高等学校 100%	中学校 100% 高等学校 100%	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(4)キャリア教育の推進	成果指標	【創】 高等学校(全日制)においてインターンシップを体験した生徒の割合	28.7% (H26年度)	31.8%	32.5%	35.7%	1.00(A)	34.5%	35.0%	—
	活動指標	【県・活】 地域等の人材を招へいた授業等を行っている学校の割合	小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校98.5%	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高等学校100%	小学校 85.0% 中学校 67.0% 高等学校100%	小学校 90.4% 中学校 75.8% 高等学校100%	小1.00(A) 中1.00(A) 高1.00(A)	小学校 86.0% 中学校 68.5% 高等学校100%	小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%	—
		キャリア教育の全体計画を策定している高等学校の割合	47.1% (H26年度)	81.2%	90.0%	89.9%	0.99(B)	95.0%	100%	—
(5)情報教育の推進とICTの活用	成果指標	ICTを活用して指導することができる教員の割合	82.2% (H26年度)	82.0% (H27年度)	83.8% (H28年度)	82.9% (H28年度)	0.99(B)	84.4%	85.0% (H30年度)	—
	活動指標	ICT活用指導力の向上に関する研修を受講した教員の割合	29.3% (H26年度)	31.5% (H27年度)	36.0% (H28年度)	34.9% (H28年度)	0.97(B)	39.0%	42.0% (H30年度)	—
		情報モラル教育を行った学校の割合	94.3% (H26年度)	98.4% (H27年度)	97.2% (H28年度)	97.1% (H28年度)	0.99(B)	98.5%	100% (H30年度)	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(6) 幼児教育の推進	成果指標	【県・活】 小学校の児童との交流を行った幼稚園等の割合	65.6%	54.7%	84.2%	58.0%	0.69(D)	92.0%	100%	小中学校長会等で交流の機会の積極的な確保を依頼するとともに、保育所・認定こども園・私立幼稚園に対して、小学校との交流活動事例を紹介するなど保幼小の交流・連携の機会の充実について積極的な取組を依頼したが、昨年度と比較して数値は増加したものの、目標を達成することができなかった。今後は、小学校との交流が進んでいる市町の取組について情報を共有するとともに、保幼小の円滑な接続を図るための指導や保幼小の交流の工夫・改善等に資する効果的な取組等についての実践研究を行い、その成果を市町の福祉部局や教育委員会にさらに普及することで、行事等における小学校児童との交流をさらに図る。
	活動指標	幼保小連携に関する研修を実施している市町の割合	86.2%	100%	100%	100%	1.00(A)	100%	100%	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成29年度)

【基本施策2】

人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)人権教育 の推進	成果 指標	人権学習によって、人権を守るための行動をしたと感じるようになった子どもたちの割合	70.2%	74.0%	77.0%	85.7%	1.00(A)	79.0%	80.0%	—
	活動 指標	【県・活】人権教育カリキュラムを作成している学校の割合	73.3%	83.0%	90.1%	90.5%	1.00(A)	96.6%	100.0%	—
(2)道徳教育 の推進	成果 指標	【県・活】人の役に立ちたいと思う子どもたちの割合	小学生 93.7% 中学生 94.1%	小学生 94.5% 中学生 93.0%	小学生 94.5% 中学生 94.6%	小学生 92.8% 中学生 92.5%	小 0.98(B) 中 0.98(B)	小学生 94.7% 中学生 94.8%	小学生 95.0% 中学生 95.0%	—
	活動 指標	道徳教育推進教師を中心として学校全体で道徳教育に取り組んでいる学校の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	—
		「私たちの道徳」および「三重県 心のノート」を年間を通じて計画的・継続的に活用している学校の割合	小学校 47.0% 中学校 16.1%	小学校 52.7% 中学校 18.0%	小学校 90.0% 中学校 50.0%	小学校 81.6% 中学校 57.7%	小 0.91(B) 中 1.00(A)	小学校 90.0% (H29年度) 中学校 80.0%	小学校 90.0% (H29年度) 中学校 80.0% (H30年度)	—
		「私たちの道徳」を家庭等で活用するよう長期休業中に持ち帰らせている学校の割合	小学校 90.9% 中学校 84.6% (H26年度)	小学校 99.5% 中学校 99.4%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 100% (H29年度) 中学校 100%	小学校 100% (H29年度) 中学校 100% (H30年度)	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)郷土教育の推進	成果指標	【県・活】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもたちの割合	小学生 41.3% 中学生 30.0%	小学生 69.3% 中学生 61.0%	小学生 51.6% 中学生 40.0%	小学生 40.1% 中学生 31.6%	小 0.78(C) 中 0.79(C)	小学生 56.8% 中学生 45.0%	小学生 62.0% 中学生 50.0%	平成28年度実績値は全国学力・学習状況調査に質問項目がなかったことから、抽出による独自の調査を活用した。平成29年度は再び全国学力・学習状況調査の項目となったが、依然として課題が残っている。「三重の文化」や市町が独自に作成した教材を活用した学習など、子どもたちは地域のよさや課題等について学んではいるものの、社会のために自分に何ができるか等を主体的に考える子どもたちの割合は増加には至っていない。今後は、各市町等教育委員会担当者会等で、子どもたちが主体的に地域の課題を考える実践事例等について、進んでいる市町の取組を情報共有する。
	活動指標	「ふるさと三重かるた」を活用している幼稚園等・小学校・中学校の割合	幼稚園等91.5% 小学校 91.4% 中学校 61.9%	幼稚園等92.4% 小学校 94.6% 中学校 75.6%	幼稚園等96.0% 小学校 96.0% 中学校 70.0%	幼稚園等95.2% 小学校 92.4% 中学校 74.4%	幼 0.99(B) 小 0.96(B) 中 1.00(A)	幼稚園等98.0% 小学校 98.0% 中学校 75.0%	幼稚園等100% 小学校 100% 中学校 80.0%	—
(4)環境教育の推進	成果指標	環境保全活動に取り組んでいる高等学校の割合	74.1%	82.8%	88.0%	91.4%	1.00(A)	95.0%	100.0%	—
	活動指標	家庭・地域・企業等と連携して、環境教育を推進している高等学校の割合	84.5%	86.2%	90.0%	91.4%	1.00(A)	95.0%	100.0%	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(5)読書活動・ 文化芸術活動 の推進	成果 指標	【県・活】 授業時間以外に読書 をする子どもたちの割 合	小学生 61.1% 中学生 48.6%	小学生 62.4% 中学生 46.4%	小学生 63.5% 中学生 51.8%	小学生 61.8% 中学生 47.7%	小 0.97(B) 中 0.92(B)	小学生 64.7% 中学生 53.4%	小学生 66.0% 中学生 55.0%	—
	活動 指標	学校図書館を活用し た授業を計画的に実 施している学校の割 合	小学校 81.8% 中学校 44.7%	小学校 83.1% 中学校 45.3%	小学校 83.4% 中学校 47.3%	小学校 82.8% 中学校 48.4%	小 0.99(B) 中 1.00(A)	小学校 84.2% 中学校 48.6%	小学校 85.0% 中学校 50.0%	—
	活動 指標	過去3年間に学校行 事として芸術鑑賞を 実施した高等学校の 割合	87.9%	93.1%	93.0%	87.9%	0.95(B)	95.0%	100.0%	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成29年度)

【基本施策3】

健やかに生きていくための身体の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)体力の向上 と運動部活動 の活性化	成果 指標	体カテストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもの割合	75.1%	75.4%	75.5%	76.0%	1.00(A)	76.0%	76.0%	—
	活動 指標	【県・活】 「1学校1運動プロジェクト」に取り組んでいる小学校の割合	77.0%	100%	100%	100%	1.00(A)	100%	100%	—
(2)健康教育 の推進	成果 指標	【県・活】 毎日、規則正しく寝起きしている子どもたちの割合	【小学生】 寝 37.6% 起 59.3% 【中学生】 寝 31.0% 起 55.7%	【小学生】 寝 36.7% 起 57.0% 【中学生】 寝 31.3% 起 55.8%	【小学生】 寝 40.2% 起 61.5% 【中学生】 寝 33.4% 起 58.3%	【小学生】 寝 37.0% 起 58.6% 【中学生】 寝 30.1% 起 54.6%	【小学生】 寝 0.92(B) 起 0.95(B) 【中学生】 寝 0.90(B) 起 0.94(B)	【小学生】 寝 41.6% 起 62.7% 【中学生】 寝 34.7% 起 59.6%	【小学生】 寝 43.0% 起 64.0% 【中学生】 寝 36.0% 起 61.0%	—
	活動 指標	年間を通じ、給食後の歯みがきを全校で実施している小学校の割合	70.7%	69.2%	73.0%	70.0%	0.96(B)	73.0%	75.0%	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)食育の推進	成果指標	【県・活】 朝食を毎日食べている子どもたちの割合	小学生 86.5% 中学生 84.0%	小学生 87.5% 中学生 84.4%	小学生 88.5% 中学生 86.0%	小学生 86.9% 中学生 83.8%	小 0.98(B) 中 0.97(B)	小学生 89.5% 中学生 87.0%	小学生 90.5% 中学生 88.0%	—
	活動指標	食育推進のための校内委員会等を設置している学校の割合	小学校 64.0% 中学校 66.5% (H26年度)	小学校 64.0% 中学校 67.7%	小学校 80.0% 中学校 80.0%	小学校 58.3% 中学校 55.8%	小 0.73(C) 中 0.70(C)	小学校 80% 中学校 80%	小学校 100% 中学校 100%	全教職員が主体的に関わり、計画的、継続的に食育を推進していくためには、食に関する指導の全体計画の策定とともに、校内委員会の設置など指導体制の充実を図る必要があるが、平成29年度の目標を達成することはできなかった。今後は食育関係講習会等の機会を活用するなど、食育の推進のために校内委員会を設置して組織的に進めることを働きかける。

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H29年度)

【基本施策4】

自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)特別支援教育の推進	成果指標	【県・活】 特別支援学級において パーソナルカルテを 活用している小中学校 の割合	59.2%	70.7%	74.7%	80.9%	1.00(A)	87.4%	100%	—
	活動指標	小中学校の通常の学級 および高等学校において 個別の指導計画を作成した 学校の割合	小学校 83.3% 中学校 65.3% 高等学校 89.4%	小学校 83.5% 中学校 65.7% 高等学校 91.1%	小学校 92.0% 中学校 84.0% 高等学校 87.0%	小学校 83.2% 中学校 72.2% 高等学校 91.3%	小 0.90(B) 中 0.86(B) 高 1.00(A)	小学校 96% 中学校 92% 高等学校 93%	小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100%	—
(2)特別支援学校における キャリア教育の推進	成果指標	【県・県】 特別支援学校高等部の 一般企業就職希望者の 就職率	100.0%	100%	100%	100%	1.00(A)	100%	100%	—
	活動指標	【県・活】 特別支援学校版キャリア 教育プログラムを作成した 特別支援学校の割合	37.5%	62.5%	68.0%	82.4%	1.00(A)	88.0%	100%	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H29年度)

【基本施策5】

笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	施策 担当課	指標名	H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)いじめや暴力のない学校づくり	生指	【県・活】 小・中・高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数	小学校 4.4件 中学校 7.6件 高等学校 2.5件	小学校 3.7件 中学校 8.8件 高等学校 2.2件	小学校 2.2件 中学校 7.2件 高等学校 2.4件	6月末 判明	未確定	小学校 1.9件 中学校 7.0件 高等学校 2.2件	小学校 1.6件 中学校 6.8件 高等学校 2.0件	
		いじめや暴力行為等に関するきまりや対応の基準を明確にしたものを保護者や地域住民等に公表し、理解と協力を得よう取り組んでいる学校の割合	93.0%	92.4%	96.4%	96.0%	0.99(B)	98.0%	100%	—

施策名	施策 主担当課	指標名	H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(2)防災教育・ 防災対策の推進	総務	成果 指標 学校の防災教育の内容を知っていて、家庭で防災対策について話し合ったことのある県民の割合	15.3%	15.7%	23.5%	16.0%	0.68(D)	27.0%	30.0%	<p>「防災ノート」はすべての公立小中学校および県立学校で活用されており、また、家族で家庭の防災対策を話し合うために配布している別冊「ワークシート」についても、児童生徒が家庭に持ち帰っている学校は88.9%に達しているが、「防災ノート」を活用した取組やその趣旨が保護者等に十分浸透していない面がある。このため、PTA連合会等と協力し、保護者に対して「防災ノート」の取組の周知を図る。また、本成果指標の調査では、「学校の防災教育の内容は知っているが、学校で受けた防災教育をもとに家庭で防災対策について話し合ったことはない」と答えた県民の割合が13.2%となっており、こうした層に「防災ノート」等を有効に活用してもらうため、学校防災リーダー等研修などを通じて、教員に対し「防災ノート」の家庭での効果的な活用方法等を周知することにより、家庭における「防災ノート」等の一層の活用促進を図る。</p>
		活動 指標 【県・活】 家庭や地域と連携した防災の取組を実施している学校の割合	88.3%	90.3%	93.5%	92.1%	0.99(B)	97.0%	100%	

施策名	施策 主担当課	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)子どもたちの安全・安心の確保	生指	成果指標	子どもたちの交通人身事故発生件数	383件	322件	320件	321件	0.99(B)	310件	300件	—
		活動指標	【県・活】児童等が交通安全マップを作製している小学校の割合	82.9%	85.4%	90.0%	95.0%	1.00(A)	95.0%	100%	—
(4)居心地の良い集団づくり(不登校児童生徒への支援)	生指	成果指標	【県・活】小・中・高等学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数	小学校 4.6人 中学校 29.7人 高等学校14.9人	小学校 5.7人 中学校 30.5人 高等学校14.2人	小学校 4.3人 中学校 27.4人 高等学校14.6人	6月末判明	未確定	小学校 4.1人 中学校 26.8人 高等学校14.5人	小学校 3.9人 中学校 26.2人 高等学校14.4人	—
		活動指標	子どもたちの居場所づくり・絆づくりに関わる校内研修等を実施した学校の割合	91.9% (H26年度)	94.3% (H27年度)	96.0% (H28年度)	95.1% (H28年度)	0.99(B)	98% (H29年度)	100% (H30年度)	—
		活動指標	学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、子どもたちに伝えるなど積極的に評価した学校の割合	小学校 97.6% 中学校 99.4%	小学校 99.4% 中学校 98.8%	小学校 98.8% 中学校 99.6%	小学校 98.1% 中学校 96.8%	小 0.99(B) 中 0.97(B)	小学校 99.0% 中学校 99.8%	小学校 100% 中学校 100%	—

施策名	施策 主担当課	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(5) 高校生の 学びの継続(中 途退学への対 応)	高校	成果 指標	高等学校(全日制)に おける中途退学率	0.83% (H26年度)	0.65%	0.80%	6月末 判明	未確定	未確定	0.8%以下	
		活動 指標	中学生のときに、複数 の学校の高校生活入 門講座に参加した生 徒の割合	52.7% (H26年度)	52.5% (H27年度)	80.0% (H28年度)	53.0% (H28年度)	0.66(D)	90.0% (H29年度)	100% (H30年度)	日程が合わずに参加できな かった中学生や、既に志望 校を決めている中学生の中 に当該高校の入門講座の みに参加する生徒がいるこ と等により目標値を達してい ない。また、各高校の特色 や学習内容等に関する情報 を発信する機会が多くあり、 中学生の各高校への理解 が進んでいることも要因の 一つであると考えている。今 後も、高校生活入門講座へ の参加が主体的な進路選択 につながることを中学校関 係者に説明し、積極的な参 加を働きかけていく。また、 参加できなかった生徒に は、各高校で別の日に説明 するなど、柔軟に対応できる よう取り組む。

施策名	施策 担当課	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(6)学びの セーフティネッ トの構築	政策	成果 指標	生活保護世帯に属す る子どもの高等学校 等進学率	93.5% (H26年度)	90.4% (H27年度)	96.0% (H28年度)	87.4% (H28年度)	0.91(B)	96.0% (H29年度)	98.8% (H30年度)	—
		活動 指標	放課後を利用した補 充的な学習サポート を週2回以上実施した 学校の割合	小学校 22.7% 中学校 13.7%	小学校 21.8% 中学校 12.0%	小学校 24.9% 中学校 15.9%	小学校 25.6% 中学校 15.3%	小1.00(A) 中0.96(B)	小学校 26.0% 中学校 17.0%	小学校 27.0% 中学校 18.0%	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H29年度)

【基本施策6】

地域に開かれ信頼される学校づくり

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)開かれた 学校づくり	成果 指標	地域の行事に参加している子どもの割合	小学生 72.0% 中学生 50.7%	小学生 73.1% 中学生 50.9%	小学生 76.6% 中学生 55.2%	小学生 68.3% 中学生 47.2%	小 0.89(B) 中 0.86(B)	小学生 78.3% 中学生 57.6%	小学生 80.0% 中学生 60.0%	—
		家の人が、授業参観や運動会等の学校の行事に来る子どもの割合	小学生 97.6% 中学生 78.9%	小学生 97.5% 中学生 79.7%	小学生 97.8% 中学生 81.5%	小学生 96.5% 中学生 78.1%	小 0.99(B) 中 0.96(B)	小学生 97.9% 中学生 82.8%	小学生 98.0% 中学生 84.0%	—
	活動 指標	【県・活】 コミュニティ・スクールに取り組んでいる小中学校の割合	14.6%	17.2%	21.0%	21.1%	1.00(A)	24.0%	27.0%	—
		【県・活】 学校支援地域本部に取り組んでいる小中学校の割合	42.0%	48.1%	49.4%	55.9%	1.00(A)	50.1%	50.8%	—
(2)学校の特色化・魅力化	成果 指標	目標をもって学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合	75.7%	79.8%	80.0%	80.4%	1.00(A)	80.0%	80.0%	—
	活動 指標	【県・活】 地域の活性化に向けて特色ある教育活動に取り組んでいる高等学校の数	14校	23校	25校	25校	1.00(A)	30校	35校	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)教職員の 資質向上とコン プライアンスの 推進	成果 指標	【県・活】 授業で主体的・協働 的に学習に取り組ん でいると感じる子ども たちの割合	小学生 71.0% 中学生 69.9%	小学生 75.0% 中学生 73.1%	小学生 75.4% 中学生 74.0%	小学生 72.8% 中学生 74.1%	小 0.97(B) 中 1.00(A)	小学生 77.6% 中学生 76.0%	小学生 80.0% 中学生 78.0%	—
	活動 指標	教職員一人あたりの 研修への参加回数	2.74回	2.74回	2.77回	2.76回	0.99(B)	2.78回	2.79回	—
		教員採用選考試験受 験者数	2,920人程度	2,900人	3,010人	2,851人	0.95(B)	3,050人	3,100人	—
(4)教職員が 働きやすい環 境づくり	成果 指標	教職員の満足度	61.9点	62.0点	62.7点	62.0点	0.99(B)	63.1点	63.5点	—
	活動 指標	総勤務時間縮減に向 けた取組を新たに実 施した学校の割合	—	85.2%	100.0%	100.0%	1.00(A)	100.0%	80.0%	—
		在職者に占める精神 神経系疾患による休 職者の割合	0.59% (H26年度)	0.65% (H27年度)	0.61%以下 (H28年度)	0.65% (H28年度)	0.94(B)	0.59%以下 (H29年度)	0.53%以下 (H30年度)	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(5)学校施設の 充実	成果 指標	【県・活】 学校の屋内運動場等 の天井等落下防災対 策の未完了数	県立学校83棟 市町立学校42棟	県立学校82棟 市町立学校27棟	県立学校65棟 市町立学校25棟	県立学校63棟 市町立学校13棟 【速報値】	県立 1.00(A) 市町立1.00(A)	県立学校39棟 市町立学校11棟	県立学校0棟 市町立学校8棟	—
	活動 指標	県立学校の身体障が い者等対応エレベ ーター設置率	56.8%	56.8%	58.1%	58.1%	1.00(A)	59.5%	60.0%	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H29年度)

【基本施策7】

多様な主体による教育の推進と文化財の保護

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)家庭の教育力の向上	成果指標	子どもたちの家庭学習の状況	【小学生】 平日 58.4% 休日 45.8% 【中学生】 平日 66.5% 休日 59.9%	【小学生】 平日 60.4% 休日 49.0% 【中学生】 平日 65.2% 休日 59.8%	【小学生】 平日 61.0% 休日 51.0% 【中学生】 平日 68.0% 休日 65.0%	【小学生】 平日 61.6% 休日 47.9% 【中学生】 平日 66.5% 休日 62.0%	【小学生】 平日 1.00(A) 休日 0.94(B) 【中学生】 平日 0.98(B) 休日 0.95(B)	【小学生】 平日 62.0% 休日 54.0% 【中学生】 平日 69.0% 休日 67.0%	【小学生】 平日 63.0% 休日 57.0% 【中学生】 平日 70.0% 休日 69.0%	—
	活動指標	生活習慣・読書習慣チェックシートでの取組後、生活指導等に活用している小中学校の割合	小学校 87.5% 中学校 81.9%	小学校 91.2% 中学校 87.3%	小学校 94.0% 中学校 91.0%	小学校 90.8% 中学校 88.0%	小 0.97(B) 中 0.97(B)	小学校 97.0% 中学校 95.5%	小学校 100% 中学校 100%	—
		【県・活】【創】 県立高等学校において ライフプラン教育に関する 取組を実施した割合	58.6%	62.1%	75.0%	69.0%	0.92(B)	90.0%	100%	—
(2)社会教育の推進と地域の教育力の向上	成果指標	【県・活】 地域の教育関係者の ネットワークへの参画者数(累計)	—	220人	300人	305人	1.00(A)	400人	500人	—
	活動指標	交流の場の開催回数(累計)	—	10回	20回	21回	1.00(A)	30回	40回	—

施策名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)文化財の 保存・継承・活用	成果 指標	【県・活】 文化財情報アクセス 件数	202,960件	213,536件	216,000件	218,189件	1.00(A)	222,000件	228,000件	—
	活動 指標	三重県内の国・県指 定等文化財数(累計)	1,078件 (H26年度)	1,124件	1,150件	1,136件	0.99(B)	1,175件	1,200件	—

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H29年度)

【重点取組】

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(1)学力の向上	全体指標	【県・県】 全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数	0	2	4	1	0.25(D)	10 (理科を含む10教科で全国平均を上回る)	8 (全教科)	学校において「めあての提示、振り返る活動」などの取組は進んできたが、子どもたちの受けとめ方と乖離が見られるなど、子どもたちが何を学ぶのか、何が身についたのかの理解につながっていない状況がある。全国学力・学習状況調査で経年的に課題が見られる国語の「引用、要約」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」、算数・数学の「割合」「図形」についてワークシートの提供等を行ったが改善につながらなかった。今後は、①平成29年度に支援を行った小学校での授業改善の取組が定着するよう、引き続き学校訪問を実施し市町と連携しながら学校の課題改善に向けた支援を行う。②「めあての提示、振り返る活動」がより実効性のあるものとなるよう、指導資料を作成し、教職員研修等で説明し、効果的な実施につなげる。③児童生徒が主体的に家庭学習に取り組めるよう、既存のワークシートに順次ヒントを掲載し提供する。④小学校算数の「割合」「図形」について、全ての教員が小学校6年間の学習内容のつながりを理解し指導が行えるよう、指導資料を作成し全小学校教員及び中学校に配付する。
		子どもたちの自尊感情の状況	小学校 82.1% 中学校 78.1%	小学校 82.7% 中学校 79.0%	小学校 82.8% 中学校 79.5%	小学校 83.5% 中学校 80.6%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 82.8% 中学校 79.5%	小学校 83.0% 中学校 80.0%	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
個別 指標		【県・活】 (1)授業内容を理解している子どもたちの割合	【小学校】 国語 82.2% 算数 81.3% 【中学校】 国語 76.3% 数学 75.4%	【小学校】 国語 81.4% 算数 82.6% 【中学校】 国語 75.4% 数学 74.9%	【小学校】 国語 85.0% 算数 85.0% 【中学校】 国語 78.0% 数学 76.2%	【小学校】 国語 83.4% 算数 83.3% 【中学校】 国語 77.6% 数学 75.0%	【小学校】 国語 0.98(B) 算数 0.98(B) 【中学校】 国語 0.99(B) 数学 0.98(B)	【小学校】 国語 86.5% 算数 86.0% 【中学校】 国語 79.0% 数学 76.6%	【小学校】 国語 88.0% 算数 88.0% 【中学校】 国語 84.0% 数学 77.0%	—
		(2)子どもたちの家庭学習の状況 <再掲>	【小学生】 平日 58.4% 休日 45.8% 【中学生】 平日 66.5% 休日 59.9%	【小学生】 平日 60.4% 休日 49.0% 【中学生】 平日 65.2% 休日 59.8%	【小学生】 平日 61.0% 休日 51.0% 【中学生】 平日 68.0% 休日 65.0%	【小学生】 平日 61.6% 休日 47.9% 【中学生】 平日 66.5% 休日 62.0%	【小学生】 平日 1.00(A) 休日 0.94(B) 【中学生】 平日 0.98(B) 休日 0.95(B)	【小学生】 平日 62.0% 休日 54.0% 【中学生】 平日 69.0% 休日 67.0%	【小学生】 平日 63.0% 休日 57.0% 【中学生】 平日 70.0% 休日 69.0%	—
		【県・活】 (3)授業時間以外に読書をする子どもたちの割合<再掲>	小学生 61.1% 中学生 48.6%	小学生 62.4% 中学生 46.4%	小学生 63.5% 中学生 51.8%	小学生 61.8% 中学生 47.7%	小 0.97(B) 中 0.92(B)	小学生 64.7% 中学生 53.4%	小学生 66.0% 中学生 55.0%	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の 対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(2)体力の向上と学校スポーツの推進	全体指標	【県・県】【創】 全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果	48.5	48.7	49.5	48.8	0.99(B)	50.0	51.0	—
	個別指標	(1)運動やスポーツ をすることが好きな子 どもたちの割合	88.3%	87.4%	88.7%	87.0%	0.98(B)	88.9%	89.2%	—
		(2)全国大会での入 賞件数	109件	103件	148件	90件	0.61(D)	155件	162件	平成29年度は目標を達成することができ なかった。平成30年度は、指導者の部活 動マネジメントスキルの向上をはかる研 修や、競技力向上対策課と連携した中学 校及び高等学校運動部の指定による強 化活動の支援を継続する。また、新たに 競技力向上対策課が実施する「チームみ え・コーチアカデミーセンター事業」によ り、トップ指導者の養成と専門的スタッフ の配置を進めることで、競技力向上に努 める。
		(3)H30年度全国高 等学校総合体育大会 の準備・大会開催に 関わった高校生の数	0人	282人	1,100人	1,512人	1.00(A)	7,900人 (H30年度)	7,900人 (H30年度)	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(3)心の教育の推進	全体指標	【県・県】 自分には、よいところがあるが、あると思う子どもたちの割合	小学生 75.1% 中学生 69.4%	小学生 75.5% 中学生 71.3%	小学生 78.0% 中学生 72.2%	小学生 77.4% 中学生 73.2%	小 0.99(B) 中 1.00(A)	小学生 79.5% 中学生 73.6%	小学生 81.0% 中学生 75.0%	—
	活動指標	【県・活】 (1)小学校の児童との交流を行った幼稚園等の割合 <再掲>	65.6%	54.7%	84.2%	58.0%	0.69(D)	92.0%	100%	小中学校長会等で交流の機会の積極的な確保を依頼するとともに、保育所・認定こども園・私立幼稚園に対して、小学校との交流活動事例を紹介するなど保幼小の交流・連携の機会の充実について積極的な取組を依頼したが、昨年度と比較して数値は増加したものの、目標を達成することができなかった。今後は、小学校との交流が進んでいる市町の取組について情報を共有するとともに、保幼小の円滑な接続を図るための指導や保幼小の交流の工夫・改善等に資する効果的な取組等についての実践研究を行い、その成果を市町の福祉部局や教育委員会にさらに普及することで、行事等における小学校児童との交流をさらに図る。
		(2)人権学習によって、人権を守るための行動をしたいと感じるようになった子どもたちの割合 <再掲>	70.2%	74.0%	77.0%	85.7%	1.00(A)	79.0%	80.0%	—
		(3)道徳教育推進教師を中心として学校全体で道徳教育に取り組んでいる学校の割合 <再掲>	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の 対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(4)グローバル 人材の育成	全体 指標	将来の夢や目標を 持っている子どもたち の割合	小学生 85.3% 中学生 71.7%	小学校 83.7% 中学校 71.0%	小学校 88.0% 中学校 73.4%	小学校 84.4% 中学校 71.2%	小 0.96(B) 中 0.97(B)	小学校 89.0% 中学校 74.2%	小学生 90.0% 中学生 75.0%	—
	個別 指標	【県・活】 (1)海外留学(短期留 学を含む)や海外研 修等に参加した高校 生の数	350人	457人	460人	476人	1.00(A)	470人	480人	—
		(2)生徒が社会の出 来事や郷土三重につ いて、自分の考えや 意見を発信する取組 を実施している中学 校の割合	41.4%	50.7%	46.0%	33.1%	0.72(C)	48.0%	50.0%	子どもたちは社会の出来事や郷土のよさ 等を学んではいるものの、社会や地域に 積極的・主体的に関わり、自分ができる ことを進んで発信するまでには至ってい なかった。今後、学校独自の取組等が進 むよう、中学生が主体的に課題の解決に 向けて取り組んだ事例を発表する「中学 生からの提案・発信」について、募集時に テーマや取組のヒントを提示するなどの 工夫を行い、応募者を増やすことで優れ た取組が発信できるようにする。また、各 学校の取組の参考となるよう、発表事例 をまとめたものを市町等教育委員会に発 信することで情報の共有を行う。

重点取組名	指標名	H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進捗度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
		実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
	(3)英検準1級以上相当の英語力を有する英語教員の割合	中学校 32.0% 高等学校62.4%	中学校 32.1% 高等学校64.0%	中学校 50.0% 高等学校75.0%	中学校 35.1% 高等学校67.8%	中 0.70(C) 高 0.90(B)	中学校 53% 高等学校76%	中学校 55.0% 高等学校77.0%	<p>全国平均(33.6%)を上回っているものの(全国18位)、35.1%にとどまったのは、英語による授業力、指導力を高めるためには、自らの英語力を客観的に把握しつつ、向上させる必要があるという意識が高まっていないことによると考えられる。そこで、中学校英語教員が参加するすべての研修講座で、外部検定試験の受験案内を配付するとともに、助成制度等について説明し、受験を奨励する。また、英語指導力及び英語力向上を狙いとした研修では、その効果測定としてTOEIC団体受験を継続的に設定する。さらに、新学習指導要領では英語での授業を基本とすると明記されたことから、市町等教育委員会と現状・課題を共有し、英語教員の英語力向上に向けた意識改革及び外部検定試験の県内分散開催の取組を進める。</p> <p>英語教員の養成課程をもつ県内の大学において、英語教員を志す学生が自らの英語力向上に取り組むよう、積極的に外部検定を受験することなど、採用試験説明会等の場を利用して働きかける。</p>
	【県・活】 (4)地域等の人材を招へいた授業等を行っている学校の割合<再掲>	小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校98.5%	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高等学校100%	小学校 85.0% 中学校 67.0% 高等学校100%	小学校 90.4% 中学校 75.8% 高等学校100%	小 1.00(A) 中 1.00(A) 高 1.00(A)	小学校 86.0% 中学校 68.5% 高等学校100%	小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(5)特別支援教育の推進	全体指標	特別支援学校高等部卒業生の就職率	30.3% (H26年度)	31.0%	31.2%	27.0%	0.87(B)	31.6%	32.0%	—
	個別指標	【県・活】 (1)特別支援学級においてパーソナルカルテを活用している小中学校の割合<再掲>	59.2%	70.7%	74.7%	80.9%	1.00(A)	87.4%	100%	—
		【県・活】 (2)特別支援学校版キャリア教育プログラムを作成した特別支援学校の割合<再掲>	37.5%	62.5%	68.0%	82.4%	1.00(A)	88.0%	100%	—
		【県・活】 (3)「三重県特別支援教育推進基本計画」に基づき整備された特別支援学校数(累計)	—	0校	2校(累計)	2校(累計)	1.00(A)	3校(累計)	3校(累計)	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(6)誰もが安心できる学び場づくり	全体指標	【県・県】 学校生活に安心を感じている子どもたちの割合	92.3%	92.7%	93.4%	92.8%	0.99(B)	94.2%	95.0%	—
	個別指標	(1)「自助」の力を育む防災教育に取り組んでいる学校の割合	73.5%	75.7%	80.0%	75.7%	0.95(B)	90.0%	100%	—
		【県・活】 (2)いじめの認知件数に対して、年度内に解消したものの割合	92.8%	91.4%	95.0%	H30.6月末判明	未確定	97.0%	100%	—
		(3)生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率<再掲>	93.5% (H26年度)	90.4% (H27年度)	96.0% (H28年度)	87.4% (H28年度)	0.91(B)	96.0% (H29年度)	98.8% (H30年度)	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(7)地域に開 かれ輝く学校 づくり	全体 指標	学校に満足している 子どもたちの割合	82.5%	84.1%	84.5%	84.8%	1.00(A)	85.5%	86.5%	—
	個別 指標	【県・県】 (1)コミュニティ・ス クール等に取り組ん でいる市町の割合	65.5%	72.4%	72.4%	72.4%	1.00(A)	79.3%	86.2%	—
		【県・活】 (2)地域の活性化に 向けて特色ある教育 活動に取り組んでい る高等学校の数<再 掲>	14校	23校	25校	25校	1.00(A)	30校	35校	—

重点取組名	指標名		H27年度	H28年度	H29年度		目標達成状況 (進展度)	H30年度	H31年度	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			実績値	実績値	目標値	実績値		目標値	目標値	
(8)教職員の 資質向上	全体 指標	【県・活】 授業で主体的・協働的に学習に取り組んでいると感じる子どもたちの割合<再掲>	小学校 71.0% 中学校 69.9%	小学校 75.0% 中学校 73.1%	小学生 75.4% 中学生 74.0%	小学生 72.8% 中学生 74.1%	小 0.97(B) 中 1.00(A)	小学生 77.6% 中学生 76.0%	小学生 80.0% 中学生 78.0%	—
	個別 指標	(1)県内の教育団体・教育研究会等と連携して実施した研修講座数	40講座	48講座	50講座	52講座	1.00(A)	55講座	60講座	—
		(2)校内外の研修や研究会の成果を教育活動に反映している学校の割合	小学校 97.6% 中学校 90.7% 県立学校86.7%	小学校 96.7% 中学校 91.7% 県立学校91.4%	小学校 99.0% 中学校 92.0% 県立学校88.0%	小学校 98.1% 中学校 91.7% 県立学校95.3%	小 0.99(B) 中 0.99(B) 県立 1.00(A)	小学校 99.5% 中学校 93.0% 県立学校89%	小学校 100% 中学校 94.0% 県立学校90.0%	—
		(3)学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合	小学校 64.2% 中学校 50.3% 県立学校27.7%	小学校 63.4% 中学校 59.0% 県立学校27.2%	小学校 67.0% 中学校 57.0% 県立学校42.0%	小学校 66.0% 中学校 58.0% 県立学校43.5%	小 0.99(B) 中 1.00(A) 県立 1.00(A)	小学校 69.0% 中学校 59.0% 県立学校44.0%	小学校 71.0% 中学校 61.0% 県立学校46.0%	—

「三重県教育ビジョン」の概要

子どもたちの希望と未来のための

30の施策

8つの重点取組

105の数値目標

三重県教育ビジョンのポイント

- ① 子どもたちや教育に対する思いを県民の皆さんと共有する「三重の教育宣言」を基本理念として掲げました。
- ② 学校防災や教育格差など近年の教育課題に対応した施策を新設しました。また、国の教育改革の動向をふまえた取組を位置づけました。
- ③ ビジョンを着実に実行していくため、特に注力する重点取組を定めるとともに、施策および重点取組に105の数値目標を掲げました。

はじめに

◆計画の位置づけ

「三重県教育施策大綱」をふまえた三重県の「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」

◆計画の対象範囲

公立学校教育を中心とした施策

◆計画の期間

平成28年度から平成31年度までの4年間

第1章 総論

1 教育を取り巻く社会情勢の変化

人口減少社会・少子高齢社会の進行、グローバル化・情報化の進展、産業構造・雇用環境の変化、教育格差と貧困の連鎖、子どもたちの安全確保、国の教育改革 等

2 三重の教育における基本方針（三重県教育施策大綱からの抜粋）

3 三重の教育宣言

子どもたちは、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、誰もが無限の可能性を持っています。

将来、地域で輝き、世界で活躍する子どもたちの姿は、私たちの「希望」であり「未来」です。

教育には、子どもたちの可能性が芽吹く土壌をつくり、開花させ、実りある豊かな「未来」を創るという崇高な使命があります。

私たちは子どもたちに、

- ・生きる喜びを感じながら、志を持って夢を実現させていく力
- ・他者と支え合いながら、社会を創っていく力を身につけて欲しいと願っています。

私たちは、子どもたちを信じ、「毎日が未来への分岐点」という思いのもと、県民力を結集し、全力で三重の教育に取り組むことを、ここに宣言します。

第2章 基本施策

第3章 施策

1 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成

①学力の育成、②外国人児童生徒教育の推進、③グローバル教育の推進、④キャリア教育の推進、⑤情報教育の推進とICTの活用、⑥幼児教育の推進

2 人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成

①人権教育の推進、②道徳教育の推進、③郷土教育の推進、④環境教育の推進、⑤読書活動・文化芸術活動の推進

3 健やかに生きていくための身体の育成

①体力の向上と運動部活動の活性化、②健康教育の推進、③食育の推進

4 自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進

①特別支援教育の推進、②特別支援学校におけるキャリア教育の推進

5 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり

①いじめや暴力のない学校づくり、②防災教育・防災対策の推進、③子どもたちの安全・安心の確保、④居心地の良い集団づくり(不登校児童生徒への支援)、⑤高校生の学びの継続(中途退学への対応)、⑥学びのセーフティネットの構築

6 地域に開かれ信頼される学校づくり

①開かれた学校づくり、②学校の特色化・魅力化、③教職員の資質向上とコンプライアンスの推進、④教職員が働きやすい環境づくり、⑤学校施設の充実

7 多様な主体による教育の推進と文化財の保護

①家庭の教育力の向上、②社会教育の推進と地域の教育力の向上、③文化財の保存・継承・活用

特に注力する取組

第4章 重点取組

1 学力の向上

授業力の向上、家庭・地域の教育力の向上、読書活動の推進

2 体力の向上と学校スポーツの推進

体力の向上、運動部活動の活性化、学校スポーツの推進

3 心の教育の推進

幼児教育、人権教育、道徳教育の推進

4 グローカル人材の育成

地球的な視野で考えながら地域で活動できる人材、地域や異文化に対する深い理解を持ちながら地球的な規模で活動できる人材の育成

5 特別支援教育の推進

早期からの一貫した支援、キャリア教育、特別支援学校の整備

6 誰もが安心できる学び場づくり

防災教育・防災対策、いじめ対策、教育の機会均等化

7 地域に開かれ輝く学校づくり

地域とともにある学校づくり、学校の特色化・魅力化

8 教職員の資質向上

授業力の向上、多様な教育課題への対応、組織運営体制の強化による教育活動の質の向上

第5章 ビジョンの実現に向けて

教育ビジョンの周知活動とともに、PDCAサイクルに基づく進行管理を実施

3 平成30年度全国高等学校総合体育大会について

1 競技大会

(1) 全国高等学校総合体育大会の出場校について【別紙1：競技種目別出場校一覧】
県総体（5月25日から27日まで）の結果及び、一部の競技については、東海総体（6月15日から17日まで、水泳（競泳、飛込み、水球）は7月21日から22日まで）の結果によりインターハイ出場校が決定します。

(2) 競技大会の主なスケジュール

6月15日～17日	東海総体で出場校決定（陸上競技、サッカー女子、ホッケー）
6月18日～29日	インターハイ参加申込期間
6月29日～7月7日	各競技組合せ抽選会
7月11日	三重県選手団結団壮行式
7月21日～22日	東海総体で出場校決定（競泳、水球）
7月26日	インターハイ開幕、記録センター・プレスセンター開設
8月1日	総合開会式
8月20日	インターハイ閉幕、記録センター・プレスセンター閉鎖

2 総合開会式

(1) 開催概要

日時 平成30年8月1日（水）10:00～12:06

会場 県営サンアリーナ メインアリーナ

参加者 各都道府県代表の選手団、招待者、一般観覧者など約5,000人

内容 総合開会式は、大きく式典と歓迎演技で構成されており、式典では、選手団入場行進、挨拶、祝辞、選手代表宣誓などを行います。

歓迎演技では、三重県の高校生が、太鼓、体操、新体操、ダンスパフォーマンス、マーチングなどの演技を行い、参加者をもてなします。その後、高校生活動推進委員会が中心となり選手団激励を行ったあと選手団が退場します。

(2) 一般観覧者の状況

募集期間 平成30年5月1日（火）から5月31日（木）まで

募集人数 800人（内高校生以下の児童生徒枠300人）

○ 一般観覧者応募状況

応募総数 1,255人

うち高校生以下の児童生徒 368人

募集定員を上回ったことから抽選を行い、当選者には通知するとともに入場用IDを7月中旬以降に発送予定です。

(3) 全体練習会日程

総合開会式本番に向けて、全体練習会、各パート練習及びリハーサルなどを実施しています。

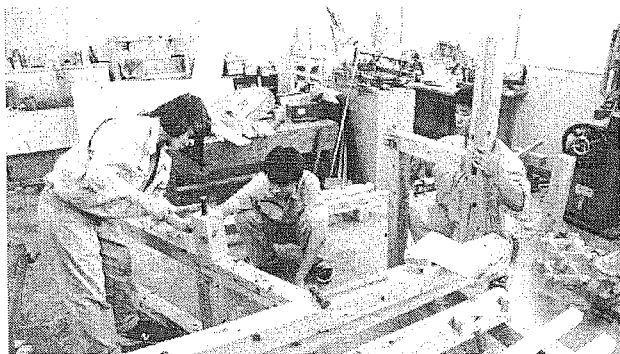
- 6月16日 歓迎演技全体練習会
- 7月12日 歓迎演技全体練習会
- 7月20日 歓迎演技 練習会（部分練習）
- 7月21日 総合開会式全体練習会
- 7月30日 リハーサル
- 7月31日 最終リハーサル

3 高校生活動の状況

(1) 総合案内所の制作状況

地元の木材を使用したり、組み立てに工夫をした総合案内所を四日市工業高校、津工業高校、伊勢工業高校、伊賀白鳳高校にて制作中です。

大会期間中、近鉄四日市、白子、津、五十鈴川駅に設置予定です。



四日市工業高校



伊賀白鳳高校

(2) 競技種目別大会開会式での歓迎のことば

三重県の高校生を代表して、高校生活動に取り組んできた生徒等が競技種目別大会の開会式において、出場する選手へ「三重へようこそ」という歓迎の気持ちと、選手に渡す手作り記念品「伊賀くみひもミサंगा」にこめた思いを述べます。

(3) 競技会場での物販

大会期間中、県内商業高等学校（6校）、農業高等学校（6校）が、企業等と協働して製作したコラボ商品や生産物等を4会場にて販売します。

4 大会PR

(1) テレビ、ラジオ、情報誌などの媒体の活用

- ・テレビ、ラジオ、新聞などでのインターハイの開催案内やテレビ番組での注目選手・チーム紹介、大会を支える高校生活動の様子等を放送します。
- ・県政だより7月号へのインターハイ特集の掲載や子育て情報誌、フリーペーパーなどでPR記事を掲載します。

(2) ホームページ・SNSでの情報発信

- ・大会公式ホームページでは、これまでの競技日程や開催場所等の大会情報に加えて、会場地市町の観光や特産品の情報を発信するための「観光・おもてなし」ページを公開するとともに、県及び各市町の観光サイトへ誘導するようにサイトを構築しています。
- ・観光三重インターハイ特設サイトで、地元高校生オススの県内5地域7コースのモデルコースの掲載や競技会場周辺の観光スポット、グルメ情報を掲載します。
- ・大会30日前から、県ホームページのトップページでインターハイ情報の画像配信を行い、集中的に情報発信します。
- ・三重県選手の試合予定や試合結果について、SNS (Facebook、twitter) を活用して情報発信します。

(3) インターハイ応援の機運醸成

- ・6月中旬より三重交通路線バスの乗降ドア横のラッピングやバスマスクなど約100台にインターハイ開催の広告を掲載し、大会期間中まで実施します。
- ・大会開催30日前等の節目を捉え、主要駅での大会チラシを配布するとともに、大会期間中に選手が利用する主要駅に歓迎装飾を実施します。
- ・2018 三重県ふれあいスポレク祭、高校野球三重大会、MieMu、斎宮歴史博物館などにてチラシ配布等のインターハイ開催告知を実施します。
- ・全国トップレベルの高校生のプレーを観戦していただく絶好の機会ととらえ、競技種目別大会の日程及び競技会場の地図が記載された大会リーフレットを県内の全中学校、高等学校のすべての生徒に配付し、大会開催PRとともに競技会場への来場を促します。
- ・会場地市町の取組として主要駅、会場地周辺へののぼり旗、横断幕等の掲出や地元の祭り、ショッピングセンターなどでのPR活動を実施します。

○会場地市町の主な取組

【津市】城山イオンPR活動(6/30)、ラッツ津PR活動(7/17)

【四日市市】駅・商店街・中央通りに横断幕、懸垂幕の掲出(7月下旬)

【伊勢市】主要駅前、会場周辺歓迎のぼり、PRステッカー掲出。五十鈴川駅前横断幕掲出、伊勢市駅前ステップ広告設置。

【鈴鹿市】競技会場・練習会場へののぼり・ポスターの装飾(7月下旬)

【亀山市】第21回花しょうぶ祭PR活動、市内中学校向けPR活動

【熊野市】広報7月号、地元新聞にインターハイ特集を掲載(7月上旬)

【伊賀市】上野高校の生徒とPR活動、スポーツ少年団の大会等でPR活動(未定)

【菰野町】登山PRイベント(未定)

競技種目別出場校一覧

別紙1

競技	種別	インターハイ出場校			
		【男子】		【女子】	
陸上競技		東海総体を経て決定		東海総体を経て決定	
水泳	競泳	東海総体を経て決定		東海総体を経て決定	
	飛込	東海総体を経て決定		東海総体を経て決定	
	水球	東海総体を経て決定			
体操	体操競技(団体)	暁		暁	
	体操競技(個人)	暁		暁	
	新体操(団体)			名張	
	新体操(個人)	高田		津田学園	
テニス	団体	四日市工業	四日市	四日市商業	津商業
	シングルス	四日市工業		四日市商業	
	ダブルス	四日市工業		四日市商業	津商業
ソフトテニス	団体	三重	近大高専	三重	松阪商業
	個人	三重	伊勢工業	三重	
卓球	団体	高田		白子	
	シングルス	高田	白子	高田	白子
	ダブルス	高田	白子	白子	
サッカー <small>(男子のみ三重県開催)</small>		三重	伊賀白鳳	東海総体を経て決定	
バレーボール		松阪工業	皇學館	津商業	三重
バスケットボール		四日市工業		四日市商業	
ソフトボール		四日市工業	津西	伊勢学園	津商業
ハンドボール		四日市工業	いなべ総合	四日市商業	暁
バドミントン	団体	皇學館		皇學館	
	シングルス	皇學館		皇學館	
	ダブルス	皇學館	暁	皇學館	明野
相撲	団体	宇治山田商業			
	個人	宇治山田商業			
柔道	団体	名張	四日市中央工業	名張	四日市中央工業
	個人	四日市中央工業		名張	四日市中央工業
		名張		高田	皇學館
剣道	団体	三重	四日市工業	皇學館	三重
	個人	三重	津田学園	皇學館	桑名
		皇學館			
弓道	団体	松阪工業		伊勢	
	個人	久居	鈴鹿高専	伊勢	四日市メリノール学院
登山		四日市工業	神戸	神戸	いなべ総合
ウェイトリフティング		四日市中央工業	四日市工業		
		亀山	石薬師		

競技種目別出場校一覧

別紙1

競技	種別	インターハイ出場校			
		【男子】		【女子】	
レスリング	団体	いなべ総合	朝明	/	
	個人	いなべ総合	松阪工業		
			朝明	四日市四郷	四日市四郷
自転車		朝明	三重	朝明	
ヨット		東海総体を経て決定		東海総体を経て決定	
ボート		津	昴学園	津商業	津
		相可			
フェンシング	団体	海星		津東	
	個人	海星	鳥羽	鳥羽	津東
ホッケー		東海総体を経て決定		東海総体を経て決定	
ボクシング		久居	明野	/	
		四日市工業定時制	朝明		
空手道	団体	四日市四郷		川越	
	個人	四日市四郷		四日市商業	川越
なぎなた	団体	/		稲生	高田
	演技			稲生	高田
	個人			稲生	高田
アーチェリー	団体	海星		四日市四郷	
	個人	四日市四郷		四日市南	
カヌー		桑名西		桑名西	
少林寺拳法	団体	鳥羽商船		/	
	組	四日市中央工業	鳥羽商船		
	単独	伊賀白鳳	鳥羽商船	四日市工業	菰野

平成30年度全国高等学校総合体育大会競技会場・競技日程

県名	競技種目		会場地 市町名	競技会場	7月					8月																													
					26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月									
岐阜県	ボクシング		岐阜市	OKBぎぶ清流アリーナ								○	●	●	●	●	◆																						
	ホッケー		各務原市	各務原市民会館		○																																	
				川崎重工ホッケースタジアム			●	●	●	●	◆																												
	空手道		岐阜市	岐阜メモリアルセンター であドーム										○	●	●	◆																						
	アーチェリー		高山市	飛騨高山ビッグアリーナ									○		□																								
		中山公園陸上競技場												●	●	●																							
カヌー		海津市	海津市文化センター										○																										
			長良川国際レガッタコース												●	●	●	◆																					
静岡県	体操	体操競技	静岡市	静岡県草薙総合運動場体育館(このはなアリーナ)																																			
		新体操																																					
	サッカー	女子	藤枝市	藤枝市民会館																																			
				藤枝総合運動公園サッカー場													●	●		◆																			
				藤枝総合運動公園陸上競技場													●	●																					
				藤枝総合運動公園多目的広場人工芝広場													●																						
				藤枝市民グラウンドサッカー場													●																						
	バドミントン		浜松市	浜松アリーナ																																			
				浜松市浜北総合体育館(グリーンアリーナ)																																			
	相撲		沼津市	ふじのくに千本松フォーラム(ブラザヴェルデ)																																			
弓道		袋井市	小笠山総合運動公園エコパアリーナ																																				
自転車競技	トラック	伊豆市	日本サイクルスポーツセンター333メートルトラック、 日本競輪学校																																				
	ロード		日本サイクルスポーツセンター5キロサーキットコース																																				
愛知県	水泳	競泳	名古屋市	日本ガイシアリーナ																																			
		飛込																																					
	バスケットボール	男子	一宮市	一宮市総合体育館(DIADORAアリーナ、いちい信金アリーナA)											○	●	●	●	●	◆																			
		男子	名古屋市	ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)													●	●																					
		女子		パークアリーナ小牧(小牧市スポーツ公園総合体育館)													○	●	●	●	●	◆																	
	卓球		豊田市	スカイホール豊田																																			
	ボート		東郷町	東郷町総合体育館																																			
				愛知池清艇場 東郷コース					●	●	●	◆																											
	フェンシング		知多市	知多市勤労文化会館 知多市民体育館											○																								
	少林寺拳法		西尾市	西尾市総合体育館																																			
和歌山県	ヨット		和歌山市	和歌山セーリングセンター																																			
◎:総合開会式 ○:競技種目別開会式 ◻:競技種目別開会式後競技 ●:競技 ◆:競技終了後閉会式 □:閉会式					26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月									

4 平成31年度三重県立高等学校募集定員総数の策定について

1 平成31年3月の中学校卒業生見込み

平成31年3月の県内の中学校卒業生は、平成30年3月に比べ635人減少し、16,823人となることが見込まれます。

県内の中学校卒業生見込み

平成30年5月1日 教育政策課調べ

	H30.3 卒業	H31.3 現中3	H32.3 現中2	H33.3 現中1	H34.3 現小6	H35.3 現小5	H36.3 現小4	H37.3 現小3	H38.3 現小2	H39.3 現小1
卒業生数	17,458	16,823	16,473	15,737	16,198	16,012	15,905	15,592	15,490	15,295
前年度対比	-336	-635	-350	-736	461	-186	-107	-313	-102	-195
H30.3対比		-635	-985	-1,721	-1,260	-1,446	-1,553	-1,866	-1,968	-2,163

2 全日制課程

(1) 県内全日制高校入学見込み人数

平成31年度の県内全日制高校への入学見込みは、中学校3年生の進路希望状況及び本県高等学校への進学状況を勘案して、前年度の15,837人に比べ625人少ない15,212人となりました。

- ①平成31年3月中学校卒業見込み生徒数 16,823人 (▲635)
- ②全日制計画進学率(全日制高校進学希望率の5ヵ年平均) 91.8% (▲0.2)
- ③平成31年度全日制高校進学見込み人数 (①×②) 15,444人 (▲618)
- ④流出入率 98.5% (▲0.1)
(〔県内全日制高校入学者数〕÷〔全日制高校進学者数〕の5ヵ年平均)
- ⑤平成31年度県内全日制高校入学見込み人数 (③×④) 15,212人 (▲625)

(2) 県立高等学校全日制募集定員総数

「高等学校生徒募集定員に係る公私比率等検討部会」の提言(平成30年2月)等をふまえ、前年度の12,240人に比べ520人少ない11,720人となりました。

[提言のポイント]

中学校卒業生数は、平成30年3月からの3年間で大幅に減少することが予測されていることから、今後も中学生の進路を保障するという観点を重視し、県立高校と私立高校の双方により高校教育の多様な選択肢の維持・充実を図りながら、県民の理解が得られるよう、募集定員を策定することが求められる。

①中学校卒業生数の予測をふまえた毎年度の募集定員の策定

- 県全体や各地域における中学生の進路状況を検証しながら、中学校卒業生数の増減予測をふまえて、毎年度策定することが必要

②高校の特色化と魅力化、募集定員の大幅減への対応

- 県内の全日制高校への進学率が低下する中で、中学生が高校を選択する際に重視する特色や魅力をふまえ、県立高校と私立高校は切磋琢磨しながら一層の特色化・魅力化を図るとともに、これまで以上に多様な生徒を受け入れるよう努め、今後も双方が生徒・保護者の幅広い学習ニーズに応える公教育の役割を果たしていくことが必要
- こうした役割を果たしていくためには、県立高校と私立高校の双方が、募集定員の大幅な減少を適切に分担することが必要

③各地域の公私比率等のあり方と方向性

- 県立高校と私立高校が、募集定員の大幅な減少に適切に対応していくためには、今後の公私比率を確定的に定めるものではないものの、その方向性を明らかにすることが必要
- 県立高校と私立高校の設置状況や中学校卒業者の増減及び進学状況等が地域によって異なることから、今後も平成25年度の提言で示された地域ごとの中長期的な方向性をふまえて募集定員を策定することが適切

<各地域における公私比率の方向性>

- (桑名・四日市、鈴鹿・津地域) → 県立高校の比率がやや低く、私立高校の比率がやや高くなるように
- (松阪、伊勢、伊賀地域) → 県立高校と私立高校の比率が大きく変わらないように
- (尾鷲・熊野地域) → 私立高校がないことから、県立高校だけで対応

[県内全日制高校募集定員の公私比率]

- 募集定員総数 県立 11,720人(▲520人) 私立 3,570人(▲90人)
- 公私比率 県立：私立＝77.0：23.5
(前年度比 県立▲0.3 私立+0.4)

3 定時制課程

前年度と同数の 770 人を募集することとしました。

4 通信制課程

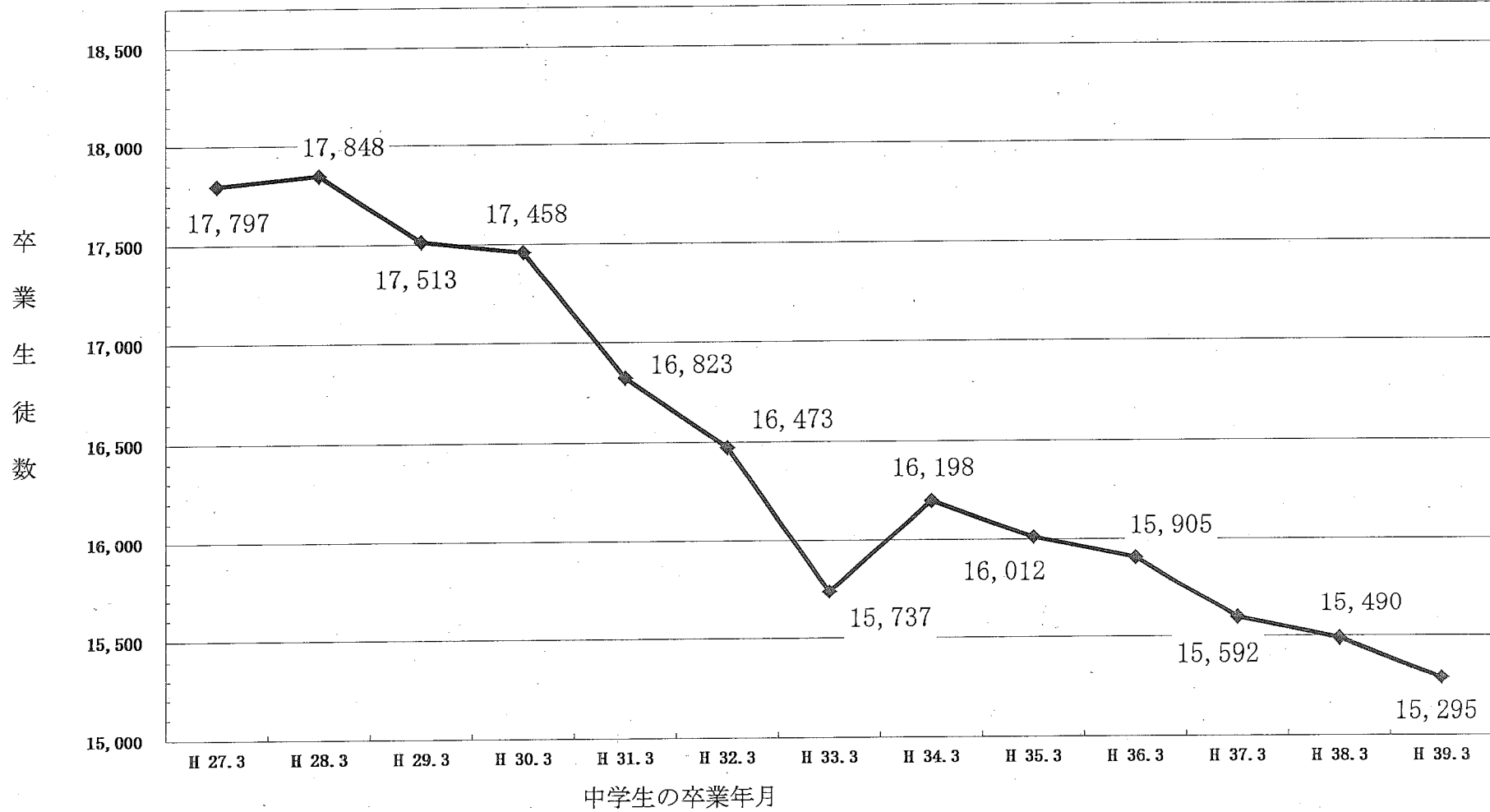
前年度と同数の 500 人を募集することとしました。

5 各県立高校の募集定員

各県立高校の募集定員は、中学生が自らの進路について考える時期を十分にとることができるよう、毎年度夏休み前の7月上旬に公表しています。今年度も教育委員会定例会において、各県立高校の募集定員について審議・決定し、例年と同様の時期に公表する予定です。

三重県中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

平成30年5月1日 教育政策課調べ



三重県 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

平成30年5月1日 教育政策課調べ

		H 27.3	H 28.3	H 29.3	H 30.3	H 31.3	H 32.3	H 33.3	H 34.3	H 35.3	H 36.3	H 37.3	H 38.3	H 39.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
桑名	卒業生数	2,203	2,131	2,127	2,021	2,048	1,979	1,945	1,988	1,967	1,954	1,975	1,911	1,933
	前年度対比		-72	-4	-106	27	-69	-34	43	-21	-13	21	-64	22
	H30.3対比					27	-42	-76	-33	-54	-67	-46	-110	-88
四日市	卒業生数	3,786	3,844	3,837	3,844	3,629	3,580	3,415	3,606	3,418	3,448	3,405	3,536	3,378
	前年度対比		58	-7	7	-215	-49	-165	191	-188	30	-43	131	-158
	H30.3対比					-215	-264	-429	-238	-426	-396	-439	-308	-466
小計	卒業生数	5,989	5,975	5,964	5,865	5,677	5,559	5,360	5,594	5,385	5,402	5,380	5,447	5,311
	前年度対比		-14	-11	-99	-188	-118	-199	234	-209	17	-22	67	-136
	H30.3対比					-188	-306	-505	-271	-480	-463	-485	-418	-554
鈴鹿	卒業生数	2,573	2,644	2,495	2,553	2,453	2,423	2,229	2,428	2,235	2,460	2,266	2,239	2,211
	前年度対比		71	-149	58	-100	-30	-194	199	-193	225	-194	-27	-28
	H30.3対比					-100	-130	-324	-125	-318	-93	-287	-314	-342
津	卒業生数	2,758	2,693	2,657	2,684	2,622	2,674	2,591	2,489	2,615	2,596	2,487	2,488	2,438
	前年度対比		-65	-36	27	-62	52	-83	-102	126	-19	-109	1	-50
	H30.3対比					-62	-10	-93	-195	-69	-88	-197	-196	-246
伊賀	卒業生数	1,496	1,607	1,530	1,549	1,515	1,447	1,416	1,406	1,376	1,385	1,355	1,330	1,353
	前年度対比		111	-77	19	-34	-68	-31	-10	-30	9	-30	-25	23
	H30.3対比					-34	-102	-133	-143	-173	-164	-194	-219	-196
小計	卒業生数	6,827	6,944	6,682	6,786	6,590	6,544	6,236	6,323	6,226	6,441	6,108	6,057	6,002
	前年度対比		117	-262	104	-196	-46	-308	87	-97	215	-333	-51	-55
	H30.3対比					-196	-242	-550	-463	-560	-345	-678	-729	-784
松阪	卒業生数	1,982	2,012	1,986	2,003	1,932	1,919	1,790	1,873	1,952	1,841	1,871	1,799	1,784
	前年度対比		30	-26	17	-71	-13	-129	83	79	-111	30	-72	-15
	H30.3対比					-71	-84	-213	-130	-51	-162	-132	-204	-219
伊勢	卒業生数	2,319	2,277	2,263	2,192	2,084	1,971	1,829	1,892	1,962	1,748	1,809	1,749	1,771
	前年度対比		-42	-14	-71	-108	-113	-142	63	70	-214	61	-60	22
	H30.3対比					-108	-221	-363	-300	-230	-444	-383	-443	-421
尾鷲	卒業生数	340	289	279	281	238	228	248	245	215	206	189	192	195
	前年度対比		-51	-10	2	-43	-10	20	-3	-30	-9	-17	3	3
	H30.3対比					-43	-53	-33	-36	-66	-75	-92	-89	-86
熊野	卒業生数	340	351	339	331	302	252	274	271	272	267	235	246	232
	前年度対比		11	-12	-8	-29	-50	22	-3	1	-5	-32	11	-14
	H30.3対比					-29	-79	-57	-60	-59	-64	-96	-85	-99
小計	卒業生数	4,981	4,929	4,867	4,807	4,556	4,370	4,141	4,281	4,401	4,062	4,104	3,986	3,982
	前年度対比		-52	-62	-60	-251	-186	-229	140	120	-339	42	-118	-4
	H30.3対比					-251	-437	-666	-526	-406	-745	-703	-821	-825
県内合計	卒業生数	17,797	17,848	17,513	17,458	16,823	16,473	15,737	16,198	16,012	15,905	15,592	15,490	15,295
	前年度対比		51	-335	-55	-635	-350	-736	461	-186	-107	-313	-102	-195
	H30.3対比					-635	-985	-1,721	-1,260	-1,446	-1,553	-1,866	-1,968	-2,163

5 三重県総合教育会議の開催状況について

[平成29年度第8回三重県総合教育会議]

- 1 開催年月日 平成30年3月26日
- 2 出席者 三重県知事、三重県教育委員会（教育長、教育委員3名）
- 3 協議事項 体力向上と健康教育について
- 4 協議結果（○：教育委員会、●：知事）

<論点1:子どもたちが運動に親しみ、体力・運動能力の一層の向上を図るために、どのような点に留意して取り組むべきか>

- 握力やボール投げが下がっているのは、生活の中でそうした力を使う機会が少なくなったからではないか。学力の高い県は体力も高い傾向にあり、学校や家庭がベクトルを合わせて取組を進めているのではないか。自己肯定感などの相関関係をみると、子どもたちの中で学力と体力はつながっているのではないか。できないことができるようになったという経験を積むようにすることが大切である。
- 何でもインターネットで検索できる時代だが、授業でできないことができるようになったきっかけは、友達や先生に教えてもらったというアナログ的なものである。できないことができるようになることで得られるものを想像できるようにすることが必要である。
- 保護者と子どもと一緒に運動する時間がとれないことも多いため、子どもたちが元気なシニア世代と地域のスポーツクラブなどで一緒に運動する機会を増やしてはどうか。
- 子どもたちの頑張りは評価すべきである。体力テストの結果を公表している学校の割合は小・中学校とも極めて低く、家庭へどのように開示していくかが深刻な課題である。市町と連携して、結果分析や改善提案を加えたうえで情報公開し、家庭に対し今まで以上に強力に働きかけていくべきである。

<論点2:子どもたちが食事や睡眠などにおいて、望ましい生活習慣を確立し、体力向上につなげていくために、どのような点に留意して取り組むべきか>

- 保護者に対する食育も大切である。学校の給食試食会は、食事がいかに子どもたちの成長に必要なかを知ることができる場であるので、活用すべきである。
- 食事や睡眠は成長に大きく影響することを保護者に伝えることが大切である。初めての子育てを迎えるときは、保護者はさまざまなことを学ぼうとするので、乳幼児期から保護者に情報を届けることが重要である。
- 保護者が子どもに運動を積極的にすすめる割合が全国平均より低くなったのは、保護者が運動の必要性を十分認識していないからではないか。保護者が健康に関心を持って運動に親しめば、子どもに運動の大切さを伝えることにもつながるはずである。

- 家庭への働きかけは、メッセージがきちんと伝わるよう心を込めてほしい。例えば「朝食を毎日食べる子どもの体力合計点は高い傾向にある」という表現ではなく「毎日食べると選択した子どもの体力合計点は全国平均を上回っている」というように、要因を分析してしっかり伝わるようにしてほしい。説明責任、情報公開、協力体制を家庭でもとってもらおうという観点から、家庭への情報提供のあり方を考えてほしい。

[平成30年度第1回三重県総合教育会議]

- 1 開催年月日 平成30年4月26日
- 2 出席者 三重県知事、三重県教育委員会（教育長、教育委員4名）
- 3 協議事項（1）平成30年度における総合教育会議の運営について
（2）いじめ対策について
- 4 協議結果（○：教育委員会、●：知事）

（1）平成30年度における総合教育会議の運営について

- 地域の未来を担う人材の育成について、中学校・高校でどう取り組んでいるのか、キャリア形成の中に地域をどう位置付けているかという観点での取組・実践報告を聞きたい。三重県は10分以上読書をする中学生の割合が秋田県や福井県に比べて低いので、読書時間を増やすにはどうしたらいいか、専門的、実践的に取り組んでいる方を招いて議論したい。「考え、議論する道徳」と言われる新しい道徳が始まるが、その先進的な実践例を聞きたい。
- 世の中の変化のスピードに適応できる人間をつくるためには、小中高でどのような教育をするべきか議論したい。この会議を意見発表の場で終わらせるのではなく、相互に意見交換できる場としていきたい。
- 学校へ出向いたり、生徒や教員を招いたりして、現場の意見を生で聞きたい。
- 人口減少社会の中で、学校を支える地域の意義・あり方、これからの学校のあり方について議論したい。地域人材が活躍している現場を見たくて、地域と学校のあり方を議論したい。
- 学校現場に行くことと「読書のすすめ」については、総合教育会議とは別にして考えていきたい。地域を担う人材育成や実践報告については、第2回会議の中で生徒の発表も含めて行いたい。
- 教育委員会定例会と総合教育会議でしっかり役割分担をしながら、この会議が果たすべき役割は何かという原点に立ち返った運営をしていきたい。最低でも6年程度の長いレンジでのテーマについて議論していきたい。

（2）いじめ対策について

- いじめをなくすには、互いの多様性を認め、イヤなことはイヤと言える人間をつくるのが大事である。子どもたちには、いじめの傍観者でなく、仲裁者であってほしい。
- いじめ防止を周知するには、例えば「ピンクシャツデー」のような、目に見える形で進めるべきである。
- 社会総がかりでの取組として、例えば、企業を巻き込みいじめ防止のCMを制作し、映画館など幅広い年齢層が利用する場所で流してはどうか。生徒手帳に記載するなど、子どもたちが当事者になった時、すぐ手にすることができる工夫も大切である。

- 生徒指導の教員だけでなく、全ての教員がいじめに対処するための力量を持つことが大事であり、そのための研修も必要である。
- 社会総がかりで取り組むためにも、事業者に条例制定の経緯や趣旨等を丁寧に説明し意見交換を行うなど、主体的に行動に移せるようにしていきたい。いじめ防止強化月間である11月のフォーラムで事業者からいじめ防止に向けた宣言をしてもらうなど、目に見える形でやっていきたい。
- 社会総がかりで取り組むための雰囲気づくりとして、企業を巻き込み、従業員が見てわかりやすく、参加しやすい運動があった方がよい。
- SNSは、密室性があり匿名であることから、いじめが起こりやすいので、神経を使って取り組むべきである。また、第三者である弁護士を活用した取組は有効である。
- いじめ事例別ワークシートの中には、大人でも判断に迷う事例もある。答えが一つとならないように配慮しながら、積極的に活用してほしい。

6 審議会等の審議状況について

(平成 30 年 2 月 19 日～平成 30 年 6 月 3 日)

1 三重県教科用図書選定審議会

1 審議会等の名称	第 1 回三重県教科用図書選定審議会
2 開催年月日	平成 30 年 4 月 25 日
3 委員	<p>会 長 鶴原 清志 副会長 飯場 寿美 委 員 金山 昌宏 他 17 名 (出席者計 16 名)</p>
4 諮問事項	平成 31 年度から小学校で使用する教科用図書及び中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について
5 調査審議結果	<p>平成 31 年度から小学校で使用する教科用図書及び中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について、市町教育委員会等に対して指導、助言又は援助するための資料として、以下の(1)～(5)について審議を行い、決定されました。</p> <p>(1) 教科用図書採択地区協議会規約例 (2) 小学校で使用する教科用図書の採択基準 (3) 中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択基準 (4) 三重県教科用図書選定審議会調査員の調査実施項目 (5) 三重県教科用図書選定審議会調査員の選任</p>
6 備考	次回開催： 平成 30 年 6 月 18 日

2 三重県社会教育委員の会議

1 審議会等の名称	三重県社会教育委員の会議
2 開催年月日	平成 30 年 2 月 21 日
3 委員	座長 東福寺 一郎 委員 伊藤 卓哉 他 3 名 (出席者計 5 名)
4 諮問事項	「子どもの学びや活動を支える社会教育の推進」について
5 調査審議結果	<p>平成 29 年度の審議テーマ「子どもの学びや活動を支える社会教育の推進」について審議し、学校支援コーディネーター等の養成をはかるため、研修体系の見直し等について意見をいただきました。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体が子どもの支援の活動をしているが、どこに相談したら良いのかわからないのが現状である。地域に核になる機関が必要であり、市町教育委員会等の適切な部署がその役割を担ってもらいたい。 ・地域特性に応じた取組を進める必要はもちろんあるが、県内のどこであっても、一定の水準が確保される必要があることに留意して、地域学校協働活動の促進に取り組む必要がある。また、県民の理解を促すような PR も必要である。 ・子どもが何を考え何を望んでいるのかという視点で、子ども主体を進めることを大切にする必要があり、それをふまえ、社会教育委員やコーディネーターの研修を行ってほしい。
6 備考	次回開催予定： 平成 30 年 7 月上旬